

KDDI 総研 R&A 誌は定期購読（年間 27,468 円）がお得です。お申し込みは、KDDI 総研ブックオンデマンドサービスまで。既刊の PDF 無料ダウンロードの特典もあります。

(<http://www.bookpark.ne.jp/kddi/>)

香港のブロードバンドTV競争



## 香港のブロードバンドTV競争

🕒 記事のポイント

### サマリー

PCCWが2003年に放送開始した「now Broadband TV」が2年間で40万人以上の加入者を集め、ライバルのi-Cableに迫る勢いを見せている。PCCWはi-Cableに対抗して映画、人気スポーツ等のコンテンツを取り揃え、IP-TVの充実に一層力を入れる。固定通信第2位のHutchison Global CommunicationsもTVBと提携し、IP-TVとブロードバンドインターネットのパッケージサービスを開始した。

### 主な登場者

PCCW i-Cable Hutchison Global Communications  
Hong Kong Broadband Network

### キーワード

ブロードバンド IP-TV

### 地域

中国（香港）

### 執筆者

KDDI総研 企画調査G 近藤 麻美 (as-kondou@kddi.com)

### < ‘now Broadbad TV’ 対 ‘i-Cable’ >

固定通信事業者PCCWが提供するIP-TVサービス「now Broadband TV」<sup>◇（脚注）</sup>の加入者が2005年6月末現在44万人を突破、年度目標の50万人に近づいている。

かつて香港のペイTV市場を独占していたケーブルTV会社i-Cableの加入者が現在約70万人であるのに対し、now Broadband TVは開業後わずか2年で既存のペイTVサービスを脅かす存在に成長しつつある。



◇（脚注）

now Broadband TVを運営しているのはPCCW子会社のPCCW Media Limitedで、同社は香港域内向け有料放送免許を保有する。

now Broadband TVの加入者のうち有料番組視聴者の割合も2004年末時点の53%から63%に上昇し、2005年末には70%に達するだろうと予想されている。

PCCWの固定電話加入者はこの数年減り続けているが、電話加入者の減少率を上回る勢いでnow Broadband TVのユーザ数が増えており、IP-TVはいまやPCCWにとってコンシューマ向けのコア・サービスのひとつとなっている。

香港で2006年以降導入が計画されているハイビジョン放送にも対応できるよう、PCCWは現在、ブロードバンドネットワークの一層の高速化にも取り組んでいる。

また、PCCWは2005年6月、3G携帯電話事業者のSunday Communicationsの59.9%をDistacom等から総額11.6億香港ドル（約168億円）<sup>◇（換算率）</sup>で買収し、携帯電話市場への再参入を果たしており、今後IP-TVにおける映像コンテンツを3G携帯電話に応用する可能性もある。

now Broadband TVの人気の要因のひとつは、開業当初からのセールスポイントであるチャンネルの「ばら売り」方式にある。見たいチャンネルだけをいくつでも、最低1ヶ月単位から契約できる手軽さが消費者をひきつけている。

開業当初は23しかなかったチャンネル数は現在70以上にまで増えた。内容もはじめは音楽番組、ニュース、情報番組が主だったが、PCCWは人気の高いスポーツや映画のチャンネルの獲得に力を注いでいる。

2004年中にStar Sports、ESPN等のスポーツ専門チャンネルの香港における独占放映権を獲得したのに続き、2005年7月、これまでi-Cableが放映してきたTime-Warner社のHBO、Cinemaxの二つの映画専門チャンネルの、2006年から2014年までの独占放映権を獲得したと発表した。その他、Star Groupとの間でもStar Moviesの2011年までの放映契約を交わした。さらにPCCWは、現在i-Cableが保有している欧州のプロサッカーリーグの放映権の後釜も狙っているといわれる。

ペイTV市場の競争化に伴いi-Cableのコンテンツ投資負担は急増している。

2004年にi-Cableがコンテンツにかけた費用は前年度に比べ22%増加し、売上の33%に及んだ。2005年は更に増加が予想される。今後もnow Broadband TVとのコンテンツ争奪戦がコンテンツの相場を吊り上げることが懸念されている。

## <HGCも市場参入>

香港のブロードバンドインターネット市場でPCCWに次いで第2位のHutchison Global Communications (HGC) も2005年7月からペイTV市場に新たに参入した。

新興のペイTV会社であるSuperSUN（新電視）とHGCが提携し、HGCの光ファイ



◇（換算率）

1香港ドル=14.5円（2005年8月1日東京市場TTMレート）

バー網でSuperSUNの番組を流すサービスを開始した。

料金はHGCの最大10MbpsのブロードバンドインターネットとSuperSUNのペイTVサービスをセットにして月額基本料263香港ドル(約3800円)(セットトップボックスのレンタル料15香港ドルを含む)で、ニュース、ドラマ、アニメ、MTV等、30チャンネル以上の番組を無料で視聴できる。PCCWに比べると高めの料金設定だが、HGCとSuperSUNのサービスを別々に申し込むのに比べれば100香港ドル(約1450円)ほど安くなるという。

SuperSUNを経営しているのは香港最大の地上波TV局TVBの100%子会社、Galaxy Satellite Broadcasting Limited(銀河衛星広播有限公司)である<sup>○(脚注1)</sup>。Galaxy TVは名前のお通り衛星放送会社だが、2005年4月に香港のBroadcasting Authority(広播事務管理局)から同社の番組をHGCの固定通信網を利用して配信する許可を得た。

衛星放送は受信アンテナ設備が必要という点で消費者にとってはやや敷居が高い<sup>○(脚注2)</sup>が、HGCのブロードバンドインフラを利用すればSuperSUNは一挙にユーザの間口を拡大することができる。また、HGCにとってはコンテンツへの投資をかけずに自社のブロードバンドサービスの魅力を高めることができ、両者の利害が一致した。HGCも同じHutchison Group内に3G携帯電話事業を持ち、モバイルへのコンテンツ応用も期待できる。

SuperSUNは今後市場の反応を見ながら、IPの双方向性を活かしたクイズ、医療相談等の生番組も提供していきたいとしている。

なお香港ではPCCWやHGC以外に、City Telecom子会社のHong Kong Broadband Network(HKBN)がやはり2003年からIP-TVサービスを提供している。HKBNの加入者は2005年6月末現在約39000人と、i-CableやPCCWに比べると少ないが、宗教番組や旅行番組等、ユニークな専門チャンネルを数多く揃えてニッチ市場を確保している。



○(脚注1)

TVBが2000年にペイTV免許を取得し衛星放送のGalaxy Satellite Broadcasting Ltd.(銀河衛星広播)を設立、2004年2月からexTVの名称で本放送を開始したが、2005年5月ブランド名をSuperSUNに改称した。

○(脚注2)

高層アパート、マンション等の集合住宅が密集する香港では衛星放送も建物の共同アンテナで受信し各戸に分配する方式が一般的である。

【図表1】香港のペイTV事業者

| 事業者                | i-Cable                          | now Broadband TV                 | Digital TV (HKBN)    | SuperSUN (HGC+TVB)   |
|--------------------|----------------------------------|----------------------------------|----------------------|----------------------|
| 方式                 | CATV                             | ADSL                             | 光ファイバー               | 衛星<br>光ファイバー         |
| ペイTV加入者数           | 718,000 <sup>1</sup>             | 441,000 <sup>2</sup>             | 39,000 <sup>3</sup>  | 約50,000 <sup>4</sup> |
| ペイTV ARPU          | HK\$216 <sup>1</sup><br>(約3130円) | HK\$110 <sup>2</sup><br>(約1595円) | n.a.                 | n.a.                 |
| ブロードバンドインターネット加入者数 | 301,000 <sup>1</sup>             | 857,000 <sup>2</sup>             | 203,000 <sup>3</sup> | 194,000 <sup>5</sup> |

(各種資料に基づきKDDI総研作成)

&lt;データ出典等&gt;

<sup>1</sup> 2005年6月末現在、i-Cable Communications中間決算報告<sup>2</sup> 2005年6月末現在、PCCW中間決算報告<sup>3</sup> 2005年2月末現在、HKBN中間決算報告<sup>4</sup> SuperSUNのペイTV加入者数(新聞報道による)<sup>5</sup> HGCのブロードバンド加入者数(2005年6月末現在、Hutchison Telecommunications International中間決算報告)

## 【参考】IP-TVの接続イメージ

普通のテレビにデコーダ(セットトップボックス)をつなぎ、リモコンで操作して視聴する。PCCWの場合、同社のブロードバンドサービス「Netvigator」の加入者であれば、セットトップボックスは無料で提供される。



&lt;図出典&gt; Hong Kong Broadband Networkホームページ

## 📖 執筆者コメント

2003年にPCCWとHKBNが始めたIP-TVサービスは、既存のi-Cableに比べ約半額の料金を打ち出し注目を集めた。

それでも当時はチャンネル数が少なく内容が乏しかったことからi-Cableの独占体制を突き崩すのは当面難しいと考えられたが、PCCWのnow Broadband TVは予想を上回る短期間で香港のペイTV市場の一角を占める勢力に成長した。これはやはりPCCWが資金を投じてコンテンツの充実を図ってきた効果によるところが大きい。

PCCWのRichard Li (李澤楷) 会長はかつてStar TV<sup>👉(脚注)</sup>の設立にも関わるなど、従来からメディア事業に強いこだわりを持っている。2000年にPCCWがHong Kong Telecomを買収した際には、ブロードバンドインフラによる放送・通信の垣根を越えたメディアミックス事業を新戦略の筆頭に掲げていた。その後5年を経て、本来の目標の実現に一歩近づいたといえるだろう。

2005年初め、中国本土のChina NetcomがPCCWに20%出資した。PCCWは今後Netcomとの提携を通じ、本土のIP-TV市場進出もねらっている。

## 📖 出典・参考文献

KDDI香港報告

South China Morning Post (www.scmp.com)

明報 (www.mpfinance.com)

The Standard (www.thestandard.com.hk)

Commerce, Industry and Technology Bureau (www.citb.gov.hk)

Broadcasting Authority (www.hkba.hk)

「データブック世界の放送2005」(NHK放送文化研究所編)



👉 (脚注)

1991年に当時Hutchison Whampoaに在籍していたRichard Li氏が設立した香港域外向け衛星テレビ放送会社。1993年にRupert Murdoch氏率いるNews Corpに63.6%を売却。1995年に残りの株式もNewsが買収し100%子会社とした。